

第3学年 英語科学習指導案

時間・場所 5校時 3年5組教室
 生徒 3年5組17名(男子8名女子9名)
 指導者 重茂 磨利

1 単元名 Program 8 Clean Energy Sources (SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 開隆堂)

2 単元について

(1) 生徒観

英語を音読することを得意とする生徒が多く、発音に注意して英語らしく丁寧に読もうとする。しかし長文内容の読み取りでは、根気強く取り組む習慣が不足しているため苦手とする生徒が多い。3年5組の生徒は比較的小となし、挙手や発言は多くない。間違いを恐れず自分の意見を発表したり、積極的に授業に参加したりできるような指導を心がけたい。

(2) 教材観

本単元では、風力発電、太陽光・太陽熱発電、波力・地熱発電といった自然の力を利用した再生可能エネルギーによる発電について英語で学習する。2011年3月11日に日本を襲った東日本大震災は、日本の原子力防災指針の想定を簡単に超え、日本のみならず世界中の関心事となった。ここでは、再生可能エネルギーの重要性や、有限である化石燃料について学び、震災で被害を受けた地域に住むひとりとして、原子力発電について、また地域に適した発電方法についても考えていきたい。言語材料としては、目的格の関係代名詞 **which/that** を扱う。前単元では主格の関係代名詞 **who/which/that** を学習しているため、既習の知識を活かすとともに、違いに注意して学習をする。

(3) 指導観

関係代名詞の主格と目的格の違いを理解し、短い英文の読み取りや自力で英作文をすることを意識して学習させていきたい。少人数指導の良さを生かして発表の機会を増やし、間違いを受け入れる温かい学習環境、教え合いなどの場面を意図的に作り、生徒の達成感を高める指導の工夫をしていきたい。

3 単元の目標

- (1) ペアワークに積極的に取り組み、コミュニケーションを図ろうとする。
- (2) 自分の考えや事実について口頭で発表する。
- (3) 再生可能エネルギーにはどのようなものがあるか読み取る。
- (4) 目的格の関係代名詞 **which/that** の用法を理解する。

4 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
ペアワークに積極的に取り組み、コミュニケーションを図ろうとする。	自分の考えや事実について口頭で発表することができる。	再生可能エネルギーにはどのようなものがあるか読み取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的格の関係代名詞 which の用法を理解している。 ・ 目的格の関係代名詞 that の用法を理解している。

5 学習計画 (全7時間)

- ①関係代名詞 **which** を使って、ものについて詳しく説明することができる。・・・1時間 (本時)
- ②関係代名詞 **that** を使って、人やものについて詳しく説明することができる。・・・1時間
- ③関係代名詞 **which/that** の省略形を使って、人や物について説明することができる。・・・1時間
- ④p.75の内容を理解し、発音に注意して音読することができる。・・・1時間
- ⑤p.77の内容を理解し、発音に注意して音読することができる。・・・1時間
- ⑥p.79の内容を理解し、自分の地域に適した発電方法を考え、発表することができる。・・・1時間
- ⑦まとめ・確認テスト・・・1時間

6 本時の指導 (1 / 7)

(1) ねらい 関係代名詞 which を使ったものについて詳しく説明できるようにする

(2) 展開

学習活動	学習内容	指導のための工夫・評価
1 2分前学習 2 挨拶 3 本時の見通し	○Topic Talk ・提示されたトピックについてペアで会話する ○Greetings ○Today's Goal ・教師による導入から今日の学習の見通しを持つ	◇Today's Menu の掲示 U ◇実物を示し、興味関心を高める U
Today's Goal 関係代名詞 which を使って、自分の持ちものについて詳しく説明できるようにしよう。		
4 課題追求 5 まとめ 6 振り返り 7 次時の確認	○Task 1 (1) Basic Dialog (2) Listen (3) Speak (4) Try ・ペアで教科書の例題を使って英語で説明練習をする。 ○Task 2 ・自分の持ち物についてどんなものか説明する文をワークシートに書く ・グループで友達に自分の持ち物について説明し、さらに加えて情報を交流する。(英語で) ・交流内容をワークシートにまとめる。 ・グループの代表が自分あるいは他の人の持ち物について紹介する。 ○Conclusion ワークシートの()の穴埋めで関係代名詞についてのまとめを行う。 ○Reflection ・今日の取り組みについて振り返りを記入し、発表する。 ・次時の予告と家庭学習の確認をする。	◇ペアワーク <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ペアワークに積極的に取り組み、コミュニケーションを図ろうとしているか。 【関心・意欲・態度】 (観察)</p> </div> ◇ペアワーク <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・目的格の関係代名詞 which の用法を理解しているか。 【外国語理解の能力】 (観察)</p> </div> ・教え合いを推奨する U ◇グループワーク <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・自分の考えを英文で表現することができる 【外国語表現の能力】 (観察・ワークシート)</p> </div> ・Today's Goal が達成できたか、確認する場とする。 ◇学習チェックシート ・感想の中で友達のいいところを発見できたところがあれば紹介する。 U ・次回への意欲を持たせる。